

平成 20 年度使用燃料調査分析結果及び平成 18～20 年度とりまとめ分析結果

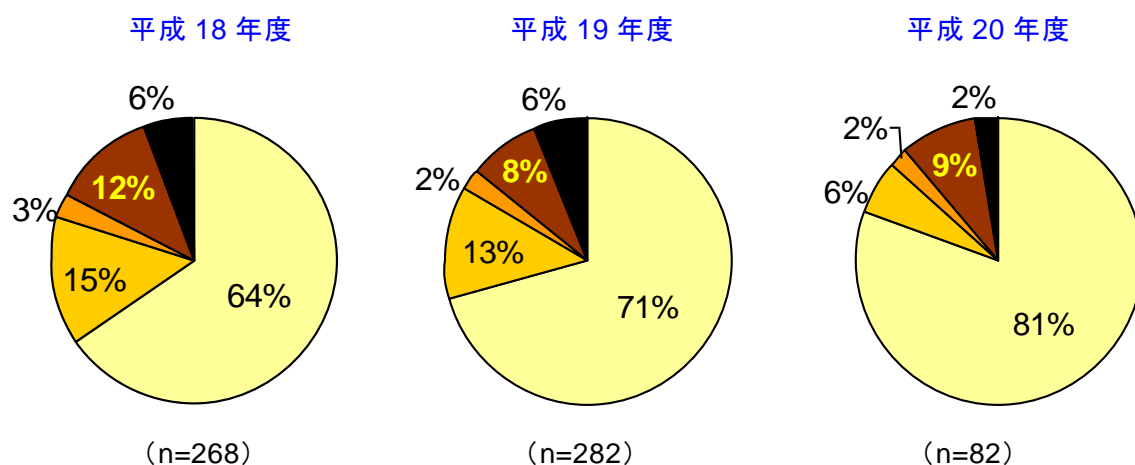
環境省 水・大気環境局  
自動車環境対策課

◎平成 20 年度サンプル分析

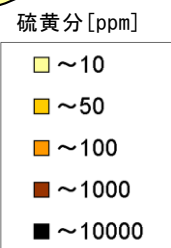
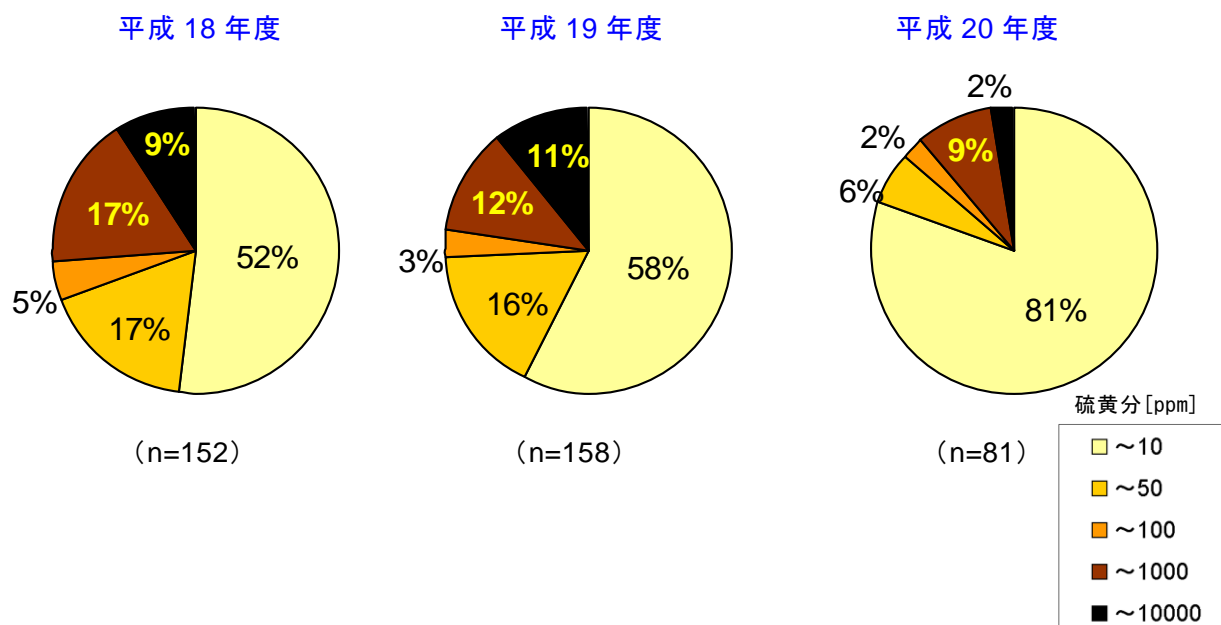
平成 20 年度は、過去年度でややサンプル数の少なかった中部地方以西の工事現場等でのサンプルを重点的に 82 サンプルを採取し、硫黄分の分析を行いました。硫黄分の質量比が 10ppm を超えるサンプルは 16 件、全体の約 19% を占めています(50ppm を超えるサンプルは 11 件、約 13%、100ppm を超えるサンプルは 9 件、約 11%)。

また、全サンプル比較、中部以西のサンプルによる同一地域比較、ともに過年度に比べて硫黄分について改善傾向が見られました。

1. 年度別硫黄分（円グラフ）…… 全サンプル比較



2. 年度別硫黄分（円グラフ）…… 中部以西のサンプルのみの比較

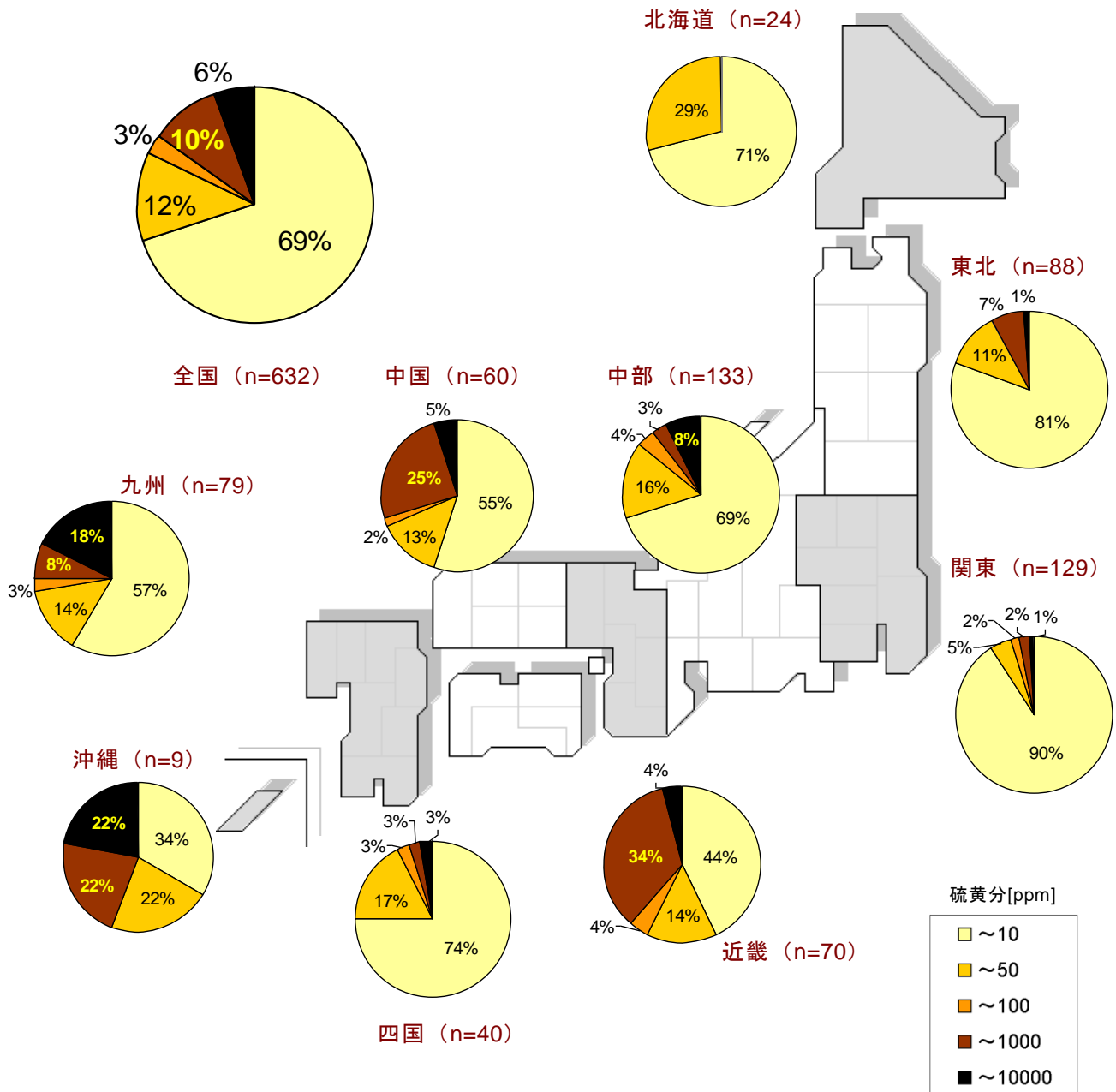


## ◎平成 18～20 年度とりまとめ分析結果

平成 18 年度から平成 20 年度までの過去 3 年分のサンプルをとりまとめ、地方別の傾向を分析しました。結果は下記の通りです。

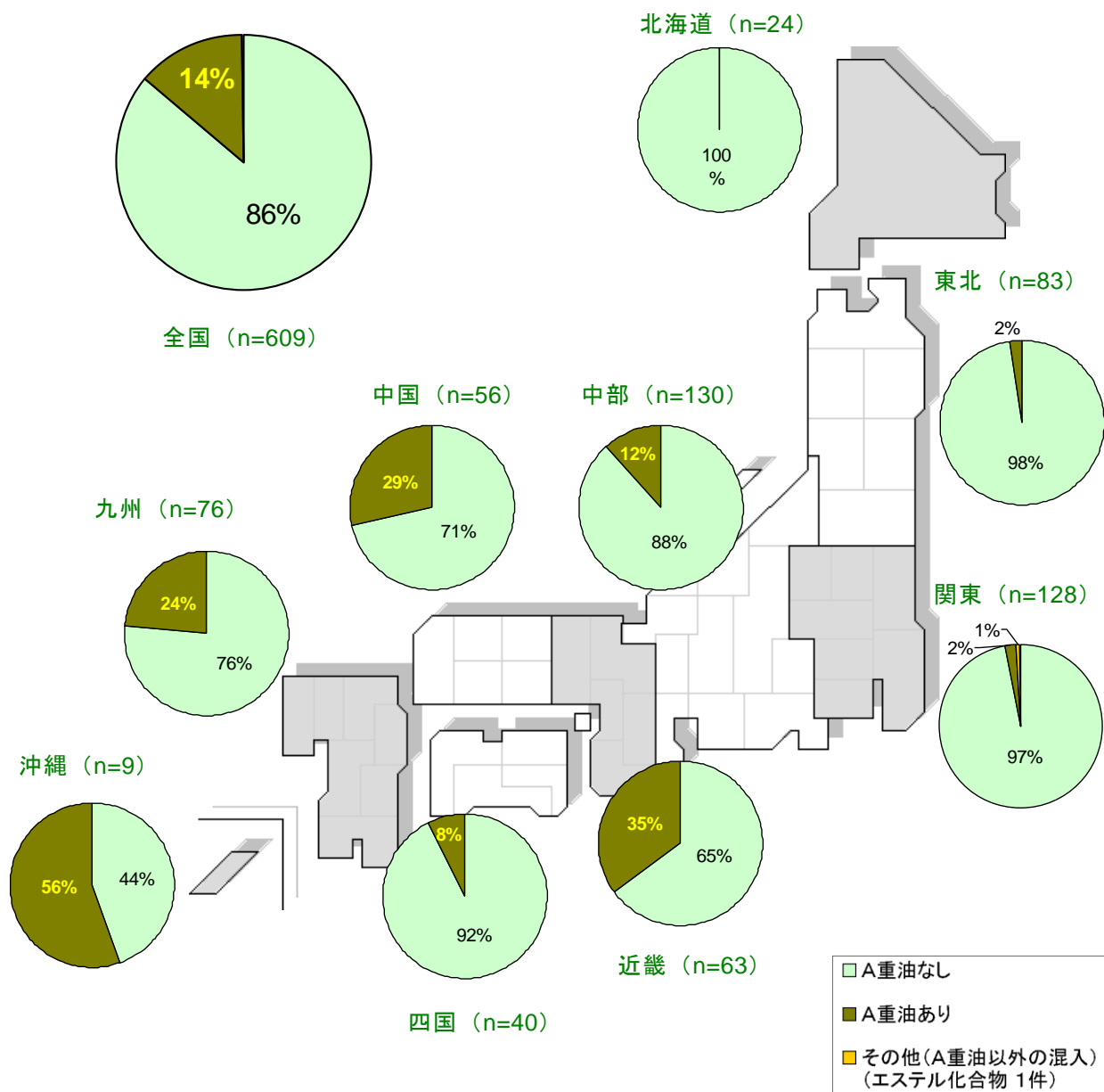
### 1. 硫黄分

東日本に比べて、西日本の方が硫黄分が高い傾向にあり、100ppm を超える高濃度の硫黄分が検出されたサンプルも多い。



## 2. A重油混入の有無

硫黄分と同じく、東日本に比べて、西日本の方がA重油を混入している可能性の高いサンプルが多い傾向にある。



### 3. 灯油留分含有率

西日本に比べて、東日本の方が灯油留分含有率の数値が高い傾向にある。特に積雪寒冷地での数値が高い。

※調査時期が冬期のため、積雪寒冷地における正規軽油中の灯油留分含有率はもともと高めとなる。

